

☆世界

繊維業況

спанデックス需要、2015年までに50万ト

PCI Fibersによると、世界のспанデックス繊維需要は2015年までに50万トを超える見通しである。通常спанデックス繊維は、生地の3-5%の構成比率であるため、この消費量は約1,000万トのストレッチ生地の需要があることを示しており、PCIでは、今後もストレッチブームが続くと分析している。近年のспанデックス繊維需要は、2009年が33.4万ト、2010年が38万トと推移している。生産能力は2010年に57.9万トに達しており、そのうちINVISTAや暁星など外資メーカーの工場を抱える中国の生産能力が、2010年末時点で40.4万トと、7割近くを占めている。中国以外では、トルコ、ベトナム、ブラジルで暁星やINVISTAなどの投資が活発である。

☆中国

炭素繊維

四川新万興のプリプレグライン稼働開始

このほど、四川新万興炭繊維複合材料がスイスから導入した炭素繊維プリプレグ生産ラインの正式稼働に成功した。生産能力は、高性能炭素繊維プリプレグ年産1,000㎡、炭素繊維複合材料製品年産500ト。プロジェクト全体の投資総額は12億元。うち、プリプレグ生産がメインとなる第1期工期の投資額は5.6億元。四川省新万興炭繊維複合材料は、精華大学自動車工程、米国雅奇公司(Argosy International Inc.)と炭素繊維複合材料分野での技術協力を強化するため戦略的技術協力協議に調印しているという。

☆インド

不織布

Neumag、ジオテキスタイル設備を導入

ドイツの繊維機械メーカーOerlikon Neumagは、インド企業と、ジオテキスタイル(土木・建築用途)向け短繊維不織布の機械一式の受注契約を交わしたことを明らかにした。同契約によると、不織布生産の梱包までの一貫生産、設備の立ち上げ、機械、試運転までの責任を同社が負うという。設備能力は80ト/日。稼働開始は2012年末の予定である。

☆トルコ

炭素繊維

AKSA、炭素繊維の新ライン増設へ

トルコのアクリルメーカーAKSA A. S.は、トルコ北西部Yalova地方にある炭素繊維工場において、6,500万ドルを投じ年産1,700トのセカンド

ラインを建設する計画だ。また、既存のファーストラインの能力(1,500 トン/年)を年間300トン増産する。セカンドラインは今年7月までに着工予定。AKSAは、米Dow Chemicalの子会社のDow Europeと合弁会社を設立し、AKSAのYalova工場を拠点に5年で10億ドルを投じ炭素繊維生産を拡大すると発表している。(海外速報911 2012/1/10)

☆米 国

環 境

Nike、無水染料技術で蘭企業と連携

Nike Incは、このほど、オランダ企業DyeCoo Textile Systemsと、戦略的パートナーシップを締結したと発表した。

DyeCooは、超臨界流体二酸化炭素(SCF CO2)技術をポリエステル染料に導入し商業化に成功した初めての企業。従来の染色では、繊維1kg当たり100~150リットルの水が使用され、2015年に染料が必要なポリエステルは年間3900万トンを超えると予測されている。しかし、DyeCooの技術を使用すれば、これまでの染色用の大量の水と、水の加熱に必要な化石燃料が不要になり、環境汚染につながる廃水リスクもなくなるという。DyeCooは染料工程に使用されている二酸化炭素も再生・再利用するとしている。

Nikeは、今回のパートナーシップは、同社が長期にわたってアスリートに対し優れた製品を設計開発していく意思の表れであり、持続可能なビジネスへの取組み強化を示したものとしている。

また今年のイベントで、水を使わずに染色した繊維製品を発表することを計画している。

以 上